

4 教育の情報化

1 事業目的

教育の情報化（「情報教育（情報活用能力育成）」…**A** 「教科指導におけるICT活用」…**B** 「校務の情報化」…**C**）を推進し、教育の質の向上を図る。

2 実施方針

- (1) 学習意欲を高めるわかる授業づくりにむけて、教科指導におけるICT活用を推進し、授業力向上を目指す。（関連 **A** **B**）
- (2) 発達の段階に応じた体系的な情報モラル教育を推進する。（関連 **A** **C**）
- (3) ICT活用環境の充実に向け、学校（園）の情報システムの購入、設計及び推進の充実を図る。

3 実施内容

(1) 教科指導におけるICT活用の推進

普通教室における実物投影機および大型ディスプレイ等の常設環境整備に伴い、教員のICT活用指導力の向上を図る研修を実施する。

(2) 情報モラル・情報セキュリティ研修の推進

- ① 児童生徒が自身で判断して行動できる力を身につけるために、各教科や道徳等での情報モラル教育の実践例を提供する。
- ② 全教職員を対象に実施するeラーニングの内容を精査し、情報モラルおよび情報セキュリティについて最新の情報を提供し、セキュリティ意識の向上を図る。
- ③ 学校園版情報セキュリティポリシーに基づき、資産管理システム等を運用し、対象となるICT機器のシステム面でのセキュリティ対策を引き続き実施する。

(3) 学校（園）の情報システムの購入、設計及び推進

- ① 授業改善および教員の指導力向上につなげるため、大型ディスプレイ、実物投影機を全普通教室に配置することにより、教科指導におけるICT活用のさらなる充実を目指す。
- ② 総合教育センターホームページ内「家庭学習のへや」の充実
家庭学習の充実に向け、PTAや教職員に対し、「みんなの学習クラブ タブレット版」の利用法を啓発する。
- ③ 平成22年度に導入した研修（当センター5F等）用PC、平成23年度に導入した校務（小・中・特別支援学校）用PC、教育委員会内指導主事用PCの更新を行う。

4 実施状況

(1) 研修

① 情報教育研修会 2回

8月23日（月） 63人

習熟度別講座：「ICT機器の活用について」

講師：総合教育センター 水津 和雅 指導主事

中田 智継 指導主事

2月7日（火） 30人

講演：「ICT活用のマネジメントにおけるポイントについて」

講師：奈良教育大学大学院 教育学研究科 教授 小柳 和喜雄 氏

② 学校園別コンピュータ研修会 7校園 106名

7月27日（水） こうのいけ幼稚園 ホームページ作成について 4人

7月28日（木） 天神川幼稚園 プレゼンテーションについて 4人

8月5日（金） 桜台幼稚園 プレゼンテーションについて 5人

8月24日（水） 神津小学校 ホームページ作成について 15人

8月26日（金） 荻野小学校 情報モラル・情報セキュリティ・授業でのICT活用について 27人

8月26日（金） 緑丘小学校 プレゼンテーション・情報機器の使い方等について 33人

8月26日（金） 花里小学校 大型ディスプレイの活用と設置の仕方について

18人

③ システム管理担当者会の開催 4回

5月10日（火）	31人
9月2日（金）	29人
2月7日（火）	27人
3月14日（火）	29人

(2) 学校園の情報化支援

- ① 教育情報化グループの体制及び学校支援
指導主事2名、技術職員1名、教育指導員1名、情報化推進員（嘱託職員）にて、電話問い合わせやリモート対応等のヘルプデスク機能を充実する。
- ② 校務支援システム運用支援
電子化された通知表及び指導要録の運用について支援した。
- ③ 学校園ホームページ更新（情報発信）支援（校内研修支援3回）
月1回以上の更新を行うことができるよう、訪問およびリモート対応により、学校園を支援した。

(3) 機器運用・整備

- ① 学校園設置機器の概要（H29.2月末）
 - ア 校務用PC（事務用） 1,234台
 - ・常勤教員1人1台
 - ・各校共用3台
 - ・セキュリティ機能付きUSBメモリ
 - ・プリンタ、スキャナ等周辺機器
 - イ 教育用PC（コンピュータ室） 1,209台
 - ・小学校 児童用42台、教師用1台
 - ・中学校 生徒用41台（ノートPC31台、スレート型PC10台）、教師用1台
 - ウ ICT機器
 - ・大型ディスプレイ等＋電子黒板（普通教室あたり1台）
※電子黒板は各小・中学校6台 特別支援学校1台
 - ・実物投影機（普通教室あたり1台）
 - エ 各種システム
 - ・インターネット・イントラネットの提供
 - ・セキュリティ対策（ウイルス対策・フィルタリング・資産管理システム）
 - ・校務支援システム
 - ・センターサーバ（校務用データの保存）
- ② 平成28年度更新
 - ア 学校園における情報教育環境の整備
 - ・大型ディスプレイ等及び実物投影機の追加整備（小・中・特別支援学校）
 - ・校務用PC等の更新（小・中・特別支援学校）
 - イ 総合教育センター内研修機器更新
 - ウ 総合教育センターサーバにおけるバックアップ機能等強化
 - エ 教育委員会事務局内指導主事端末更新

(4) 家庭学習の充実を図る支援

- ・家庭学習プリント配信システム「みんなの学習クラブ タブレット版」の運用
- ・各小・中学校PTAを対象とした活用法の啓発

5 成果と課題

(1) 成果

- ① 小・中学校の普通教室と、特別支援学校を対象に、大型ディスプレイ等及び実物投影機を導入し、情報教育環境の整備を推進することができた。（大型ディスプレイ等と実物投影機において小・中学校普通教室あたり1台整備）（関連[B]）
- ② 情報教育研修会、学校園別コンピュータ研修会を通して、ICTの活用方法や事例の紹介ができた。（ICTを活用した授業時間数の目標値：1クラスあたり1月平均20時間（平成28年4～7月平均13.1時間 平成28年9月～平成29年3月平均21.5時間）（関連[B]）

- ③ 情報モラル・情報セキュリティの資質を高めるため、全教職員対象のeラーニングを実施した。(平成28年6月8日～7月8日 実施人数1,067人) (関連[A])
- ④ 各学校園の学期末の棚卸状況を集約し、情報資産の管理を徹底することができた。(関連[C])
- ⑤ 各小・中学校PTAを対象に、家庭学習のへやの啓発活動を行った。
(平成29年3月末現在25校)

(2) 課題

- ① 新しく整備した機器における基本的な使い方について、ICTに苦手意識を持つ教員へ研修を行い、活用への意識を高める必要がある。
- ② ICTを活用した授業研究及び事後研究を実施し、活用の場面、方法等について研修する機会を設けることで、引き続き充実を図る必要がある。(関連[B][C])
- ③ 情報化社会が急速に進行していく中で、児童生徒が正しく情報を取捨選択し、活用できる力を身につけさせるため、各教科や道徳等で情報モラル・情報セキュリティに係る授業等を推進していく必要がある。(関連[A])
- ④ 社会全体で情報の取り扱い方法が重要視される中、教職員においても適切な情報管理について、意識を高めていく必要がある。